高度化、協業化、ネットワーク化に向けて人材育成で地盤固めを

社団法人 全国産業廃棄物連合会 会長 石井 邦夫



明けましておめでとうございます。

昨年6月、社団法人全国産業廃棄物連合会第26回通常総会において、会長に就任いたしました、石井邦夫でございます。

皆様におかれましては、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、当連合会の事業運営につきまして、多大なご高配を賜り誠にありがとうございました。

また、昨年11月に北陸の地、富山市において貴センター、(財)産業廃棄物処理事業振興財団、並びに当連合会の3団体主催により第9回「産業廃棄物と環境を考える」全国大会を開催し、全国各地から多くの関係者の皆様に参加をいただきました。誌面をおかりいたしまして、心よりお礼申し上げます。

昨年は、経済不況の発端となったリーマンショックの余波も遠き感になりつつも、国内外に於いて、景気上昇の萌しがなかなか見えず、景気低迷の状況が続きました。また、国際政治においては、尖閣諸島問題をはじめ、我が国を取り巻く情勢は多くの課題、難問を抱えております。

このような政治経済情勢にあって、我々産業廃棄物処理業界は、資源循環型社会に向けた3R活動と共に、生産活動の低迷による産業廃棄物の排出量の減少、質の変化に対応すべく従来の廃棄物処理業から、資源としての再生、再利用に向けた資源循環型事業へ多くの処理業者が変化を見せております。

さて、今年は、改正廃棄物処理法が施行される中にあって、我々産業廃棄物処理業界は、安心・安全な適正処理の確保、循環型社会の構築及び地球温暖化対策などへの対応に向け、役割を果たすべく自社の事業に取り組むことが肝要であると考えます。産業廃棄物の排出量の減少、処理業態の変化など非常に厳しい環境において、業界の「さかい」をこえた事業の高度化や協業化、ネットワーク化などは必然なことと思います。

このような時にこそ、事業を担う人材の育成など地盤を固めることが重要と考えます。貴センターの「業の許可申請に関する講習会」につきましては、新年度講習会テキストの刷新など実施されると伺っておりますが、引続き実施協力団体として当連合会及び正会員協会としっかり協力させていただきます。また、貴センターと共催で取り組んでいる産業廃棄物処理実務者研修会をはじめ、今後人材育成については連携を密にして取り組んで参りたいと思います。

また、改正廃棄物処理法を踏まえ、産業廃棄物の適正処理の確保と健全な業界発展を推進すべく、対応してまいりたいと考えています。

マニフェストについては引き続きその徹底を期すべく啓発･普及･頒布事業を進めるとともに、電子マニフェストについてもその普及に協力してまいります。当連合会としては、一段と使い勝手の良い電子マニフェストシステムとなることを期待しています。

私ども連合会といたしましては、循環型社会形成に向けた産業廃棄物処理業の新たなる発展へ向けて、47都道府県正会員協会とともに事業推進に邁進し、ネガティブなイメージから脱却し、ポジティブなものに変えていくとの思いを深めております。

最後に貴センターとの協力体制を密にして、事業活動を推進してまいる所存です。本年もよろしくお願い申し上げます。